

# 会議録

作成日 令和4年7月13日

日時	令和4年7月13日(水) 13:30 ~ 14:30	場所	特別養護老人ホームすこやか苑 1F 相談室
会議名	令和4年度 第2回 運営推進会議		
出席者	家族代表・民生児童委員・地域包括支援センター職員 入居者代表(出席者とのビニールシートを挟んだ面談という形で部分参加) 施設長・生活支援課長(生活相談員)・副主任支援員(介護支援専門員)		
<p>1 開 会</p> <p>※ 簡易な自己紹介実施</p> <p>2 挨拶 施設長</p> <p>本日は、お足元の悪い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 日頃より、当苑の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。 コロナ関係では、ここ数日において、県内の感染者が急増しています。今後、祭りやお盆時期を迎えることとなりますが、当法人では、祭り等への参加について、禁止の強い措置をとっていないことから、職員一人ひとりが感染予防策の徹底に努める必要があります。 面会においては、リモート式の対応としていることで、ご家族の皆様には大変ご不便をお掛けしている状況にあります。先日、車椅子清掃や苑外周の環境整備等、入居者の皆様とは非接触の内容で、ボランティアの受け入れを行っています。地域の皆様においても、コロナ禍において、当苑として貢献できる方法を考え、実施していきたいと考えています。 本日は、ご参加いただいた皆様より色んな意見を頂戴し、施設運営に反映させていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) すこやか苑の運営状況について ※別添「令和4年度第2回特別養護老人ホームすこやか苑運営推進会議資料」参照 ・ 資料に沿って、令和4年5月～6月における入退所状況・事故・研修・行事等の報告を行った。</p> <p>(2) 虐待防止の取組について ※別添「特別養護老人ホームすこやか苑の虐待防止への取組」「虐待の芽チェックリスト(入所施設版)」参照</p> <p>(3) ノーリフトケア宣言について ※別添「ノーリフティングケア宣言について」「ノーリフティングケア宣言」参照</p> <p>(4) 地域貢献活動について ※別添案内文参照</p>			

#### 4 意見交換

##### (1) ノーリフトケアについて

Q：小冊子（Vol.2）より、Hug L1のような介護ロボットはいくら位するのか。

A：100万円程度の費用である。全額施設が持ち出す事は容易ではない為、県の補助金制度を活用することによって購入は可能だと思う。昨年、2週間試用した際、入居者別に有効性を確認でき、良い機会となった為、導入時の参考としたい。

##### (2) 地域貢献活動について

Q：古館町会、自由ヶ丘町会において「出前講座」を実施してほしい。

A：施設紹介及びレクリエーション等の内容で日程調整を行っていく。

Q：例えば、認知症カフェ等にも対応してくれるものか。

A：事前に連絡をいただければ、平日・土日祝日勤務調整の上、対応は可能である。

#### 5 その他

- ・ 入居者代表と各委員がビニールシート越しにて面談を実施。生活状況等を確認してもらった。  
⇒概ね、生活への不満や困りごとはない様子であった。（各委員）  
⇒帰宅願望あり、精神的に落ち着かない時は、家族と電話する等の対応で落ち着くことができている。
- ・ 次回委員会は、令和4年 9月14日（水）13：30～を予定とするが、事前に連絡を取り、皆さんが参加できる日時に変更する場合もあり。

#### 6 閉 会

○入所状況

■入 所	定員29人	
■稼働率	5月(93.1%) ※入所0名 退所0名	6月(93.1%) ※入所0名 退所0名
■平均介護度	5月(4.2)	6月(4.1)
■平均年齢	5月(90.1歳)	6月(90.1歳)
■入所申込状況	5月(2件)	6月(5件)
	※総待機者数 51名(6月末付け)	

■短期入所	定員10人	
■稼働率	5月(65.8%) ※入所0名 退所1名	6月(67.6%) ※入所1名 退所0名
■平均介護度	5月(3.1)	6月(2.9)
■平均年齢	5月(90.9歳)	6月(89.8歳)

○事故報告について

※ 毎月安全委員会にて対策検討

■令和4年

区 分/月	5月	6月
ヒヤリハット	2	1
アクシデント	8	11
事故(Lv3以上)	1	0
合計	11	12

ヒヤリハット・アクシデント内容

区 分/月	5月	6月
転倒・転落	3	5
出血・痣	1	5
服薬	4	1
誤飲	0	1
離ユニット	1	0
連絡ミス	1	0

■事故事例（事故 Lv3 以上：通院を伴った事故ほか市役所へ事故報告したもの）

区 分	発生日	内容・対応
転倒 (入所)	5月21日 11:30	<p><b>【発生時の状況】</b>            他者介助終了後、昼食の声掛けにて居室を訪室した。居室床に未着用のズボンを下にして、左側臥位の状態で倒れていた。床には、頭部から出血のあった血痕があった。居室内衣類棚が少し開いており、トイレの扉も全開であった。車椅子座面には未使用のリハビリパンツとズボン下が置かれていた。車椅子は居室入口ドア方向を向き、ブレーキは掛かっていなかった。</p> <p><b>【対応】</b>            11:31、看護師が駆け付け状態確認を行った。左後頭部より出血あり、ガーゼで圧迫し止血した。バイタルは安定しており、意識状態も清明。頭部をぶつけ、嘔気もあったことから119番通報し、救急車を要請した。            市民病院救急外来受に搬送。頭部CT検査の結果①頭部に血腫は見られない②背骨が1か所潰れたところがあるが、いつのものかは不明と所見あり。帰苑した。</p> <p>※5月23日            11:00、市民病院脳外科外来 山本看護師より電話あり。21日撮影した頭部CT画像を脳外科Drが読影したところ、血腫を確認したとのことで、再受診の指示あり。再度、頭部CT検査施行。血腫は自然に吸収されたと診断あり、帰苑した。</p>

○身体拘束廃止への取り組みについて

※5月～6月時点で身体拘束にあたる案件なし。

○職員研修等

- ・5/25（水） 感染症対策研修①～食中毒の基礎知識と対策～ 24名参加
- ・6/22（水） 虐待防止・身体拘束廃止研修①  
 施設利用者に対する職員のこころがけ 19名参加

※ 上記ほか、法人・外部研修へ数名参加

○全体行事やユニット行事等実施状況（5月・6月）

- 5/11（水） 創作クラブ
- 5/18（水）・6/22（水） 書道クラブ
- 6/29（水） 音楽体操クラブ
- 6/15（水） ミニ運動会

## 虐待防止の取組について

### 【事業計画】

事業計画の運営方針に「利用者の権利擁護の推進にあたり、高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修会を実施する。虐待の芽チェックリストで評価し、振り返りとフィードバックを行う。」と明記。

### 【組織化】

虐待防止・身体拘束廃止委員会を設け、3ヶ月に1回以上委員会を開催し、利用者の人権と尊厳を擁護し、主体性を尊重した生活を確保するために高齢者虐待防止・身体拘束廃止に向けた対応を検討している。第1回委員会は、5/6（金）に開催し、今年度の活動等について話し合った。今後、8月・11月・2月に定例会開催予定。

### 【虐待の芽チェックリスト】

別紙、「虐待の芽チェックリスト（入所施設版）」を使用して、5月、11月に全職員が自己チェックをして提出、翌月の6月、12月の全体会議で振り返りを行うこととなった。1回目の振り返りは6/15（水）実施済み。チェックリスト記載時に具体的な事例（「～場面で、強い口調が見られる」など）も記載してもらい、その状況を共有できるようにした。

### 【職員研修】

事業計画に基づく施設内研修として、6月、1月に虐待防止・身体拘束廃止をテーマに研修会を予定。6/29（水）に青森中央短期大学から先生をお招きし、「施設利用者に対する職員の間がけ～いかにして信頼関係をはぐくむか～」という内容で研修を実施した。1月は、可能であれば地域包括支援センターから講師をお招きし、地域の課題等をお聞きできればと願っている。

### 【マニュアルの見直し】

当苑では、「虐待防止マニュアル」と「身体拘束廃止マニュアル」を整備している。年度ごとに見直しを行っており、8月と11月に見直し予定。

## 虐待の芽チェックリスト(入所施設版)

虐待の芽や不適切ケアを自己チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。

あてはまるチェック欄に○をつけてみてください。その後、結果について話し合う等の機会を作りましょう。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
		している	していない	見たこと・聞いたことがある
1	利用者に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか？	している	していない	見たこと・聞いたことがある
2	利用者に対して、アセスメント・施設サービス計画書に基づかず、あだ名や〇〇ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか？	している	していない	聞いたことがある
3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「〇〇して」「ダメ!」など)で接していませんか？	している	していない	見たこと・聞いたことがある
4	利用者への声掛けなしに介助したり、居室に入ったり、勝手に私物に触ったりしていませんか？	している	していない	見たことがある
5	利用者のプライバシーに配慮せず、職員同士で話題にしたり個人情報を取り扱ったりしていませんか？	している	していない	聞いたことがある
6	利用者に対して、「ちょっと待って」を乱用し、長時間待たせていませんか？	いる	いない	見たこと・聞いたことがある
7	利用者に必要な日用品(眼鏡、義歯、補聴器など)や道具(コールボタンなど)が壊れていたり、使えなかったりしていませんか？	している	していない	—
8	利用者の呼びかけやコールを無視したり、意見や訴えに否定的な態度をとったりしていませんか？	している	していない	見たことがある
9	食事や入浴介助の無理強いなど、利用者に嫌悪感を抱かせるような援助を強要していませんか？	している	していない	見たことがある
10	利用者の身体で遊んだり、人格を無視した関わり(落書きをする、くすぐるなど)をしたりしていませんか？	している	していない	見たことがある
11	利用者や利用者の家族の言動をあざ笑ったり、悪口を言ったりしていませんか？	している	していない	聞いたことがある
12	プライバシーへの配慮に欠けたケア(排泄について大声で話す、カーテンを開けたまま排泄ケアをするなど)をしていませんか？	している	していない	見たことがある
13	利用者に対して乱暴で雑な介助や、いい加減な態度・受け答えをしていませんか？	している	していない	見たこと・聞いたことがある
14	他の職員に仕事に関わる相談ができない等、職場でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか？	とりにくい	良好	—
15	他の職員が行っているサービス提供・ケアに問題があると感じることがありますか？	ある	ない	—

(公財)東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成(2021)

☆無記名で定期的実施・回収(年数回)し、集計・分析による課題把握を行い運営改善に取り組むことにより虐待防止につながります。また、虐待と思われることがあった場合は市町村へ通報義務があります。管理者や虐待防止研修に関する担当者への相談をする事も効果的です。

参考及び引用)東京都社会福祉協議会高齢者施設福祉部会生活相談員研修委員会 平成19年度生活相談員スペシャリスト養成研修会Cグループ作成「虐待の芽チェックリスト」社会福祉法人徳心会介護老人福祉施設いずみえん作成「虐待の芽チェックリスト」

## ノーリフティングケア宣言について

### 【ノーリフティングケアとは】

人力で利用者の身体を「持ち上げない」「抱え上げない」「引きずらない」ケアをさします。単に、福祉用具を活用することがノーリフティングではなく、介護を提供する際の体の間違った使い方をなくし、利用者の状態に合わせて福祉用具を有効に活用し取組むことが必要です。

介護する側の安全性が重視されがちですが、介護される側にもメリットがあります。必要に応じて福祉機器や福祉用具を活用し、間違った身体の使い方をなくすことで、双方に安全で安心な介護サービスの提供が可能となります。

### 【なぜ必要なのか】

ノーリフティングは福祉・医療の現場から腰痛をなくす労働安全衛生の取り組みであり、安全で働きやすい職場を作ることが目的です。

ノーリフトの考え方は 1998 年オーストラリア看護連盟が提言したと言われており、日本でも平成 25 年厚労省が改定した「腰痛予防対策指針」で「原則として人力による抱え上げは行わないこと」となっています。

この指針が改定されたのは、介護現場における腰痛の大幅な増加が背景にあり、腰痛を減らすことで介護離職を防ぐことにもつながります。

### 【すこやか苑での取り組み】

令和 2 年度 ノーリフティングケア推進委員会が発足

- (1) 全職員がノーリフティングケアについて理解できるようにする
  - ①ノーリフティングケアについての研修会の開催
  - ②啓発活動として A 4 サイズのポスター、標語の掲示
  - ③脱サンダル、脱クロックス調査
  - ④小冊子の作成
- (2) 現在ある設備を有効活用できるようになる
  - ①現在ある設備の確認
  - ②スライディングボートの勉強会の開催
- (3) 職員の腰痛対策
  - ①腰痛対策についての研修会の開催
  - ②腰痛調査
- (4) その他
  - ①介護ロボットの試用

## 令和3年度

### ○職員の健康管理担当

- ・全職員対象の腰痛アンケート調査
- ・ケア以外の場面を含む職場環境の調査とその改善策の検討

→居室トイレに柵設置試行、共用トイレのオムツ基地化試行、ケアポーター導入

### ○教育担当

- ・各ユニットでのスライディングボードの活用状況を委員会として把握・共有
- ・委員会内で定期的な技術の勉強会
- ・各委員によるそれぞれのユニットでの啓発とボード活用の普及及び技術の指導

### ○個別アセスメント・プランニング担当

- ・SSを含む入居者の移乗支援用具の使用方法、「仕様手順の一覧表作成
- ・適時、プランニングの見直しを行う

### ○福祉用具導入計画・管理担当

- ・イージーグライドの試用 ・イージーグライド在庫の拡充
- ・マスターベルトの購入 ・ケアポーターの購入

## 令和4年度

令和2～3年度の内容を踏まえて、各部門で計画をたてて実施していく。

組織として取り組んでいくために、ノーリフティングケア宣言をし、委員会のメンバーを中心としてすすめていきながら、各メンバーがユニットスタッフに伝達し全職員がノーリフティングケアの目的を理解し、実践していくことを目指していきたい。

職員一人ひとりが「働き方を変える」意識を持つことが大切となってきます。

すこやか苑でも令和4年7月1日付けで「ノーリフティングケア宣言」します。





## ノーリフティングケア宣言

すこやか苑は職員・入居者様、双方において安全・安心・快適な「持ち上げない、抱え上げない、引きずらない」ノーリフティングケアを推進していきます。

ノーリフティングケアを実践するために、入居者様の状態に合わせて福祉機器・福祉用具を活用することや、職員が身体を正しく使うことを目指します。

令和4年7月1日

施設長 千葉 伸子



青すこ第13号

令和4年6月6日

関係者各位

特別養護老人ホームすこやか苑  
施設長 千葉伸子  
(公印省略)

令和4年度特別養護老人ホームすこやか苑「出前講座」について（ご案内）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当苑の運営につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当苑では地域との連携を深め、地域への貢献を目的に、高齢者施設としての専門性や技術を研修や講座を通して発信する事業を行っております。

つきましては、学校の児童生徒様ならびに町内会の皆様、高齢者介護を学ばれている学生の皆様など、ぜひ本事業をご活用ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 1 事業概要 小中学校、町内会、高齢者介護等を学ぶ学生向け出前講座の企画・実施
- 2 講座内容 ①高齢者介護について  
②老人ホームや介護サービスについて  
③心身を動かすレクリエーションについて  
④認知症など高齢者の疾病について  
⑤ロコモティブシンドロームについて  
※ 具体的内容は、出前講座を希望される皆様と相談し決定します。
- 3 実施期間 令和4年6月～令和5年2月
- 4 費用 無料
- 5 お問い合わせ 特別養護老人ホームすこやか苑  
〒030-0947 青森市大字浜館字間瀬85番地6  
TEL 017-757-8122  
e-mail [sukoyakaen08@sukoyakaen.com](mailto:sukoyakaen08@sukoyakaen.com)  
担当：山道・渡邊